

にしんの森再生プロジェクト ～あの頃の森林にかえそう～





未立木地



目標林



プロセスを作成

住民参加による森林づくり

植栽活動



にしんの森再生プロジェクト：協働の森づくり 2010
◆豊かな森・川・海・人をつくる増毛実行委員会
◆NPO法人美林舎 ◆増毛漁業協同組合



保育（下刈）活動



植栽活動（カミネッコン）



大型機械による 地表処理



地元住民と共に

「にしんの森再生」へ



積極的な森林整備と木材の安定供給

○カラマツ複層林施業の推進

・別寒辺牛川中流域を計画的に森林に造成した「パイロットフォレスト」において、カラマツ資源の持続的供給を目指す観点から「上層カラマツー下層カラマツ」の複層林の造成に向けた施業も推進します。

なお、パイロットフォレストは、別寒辺牛湿原及び付近の小河川と近接していることから、水質の保全や野生生物の生息環境の保全にも留意します。



パイロットフォレスト

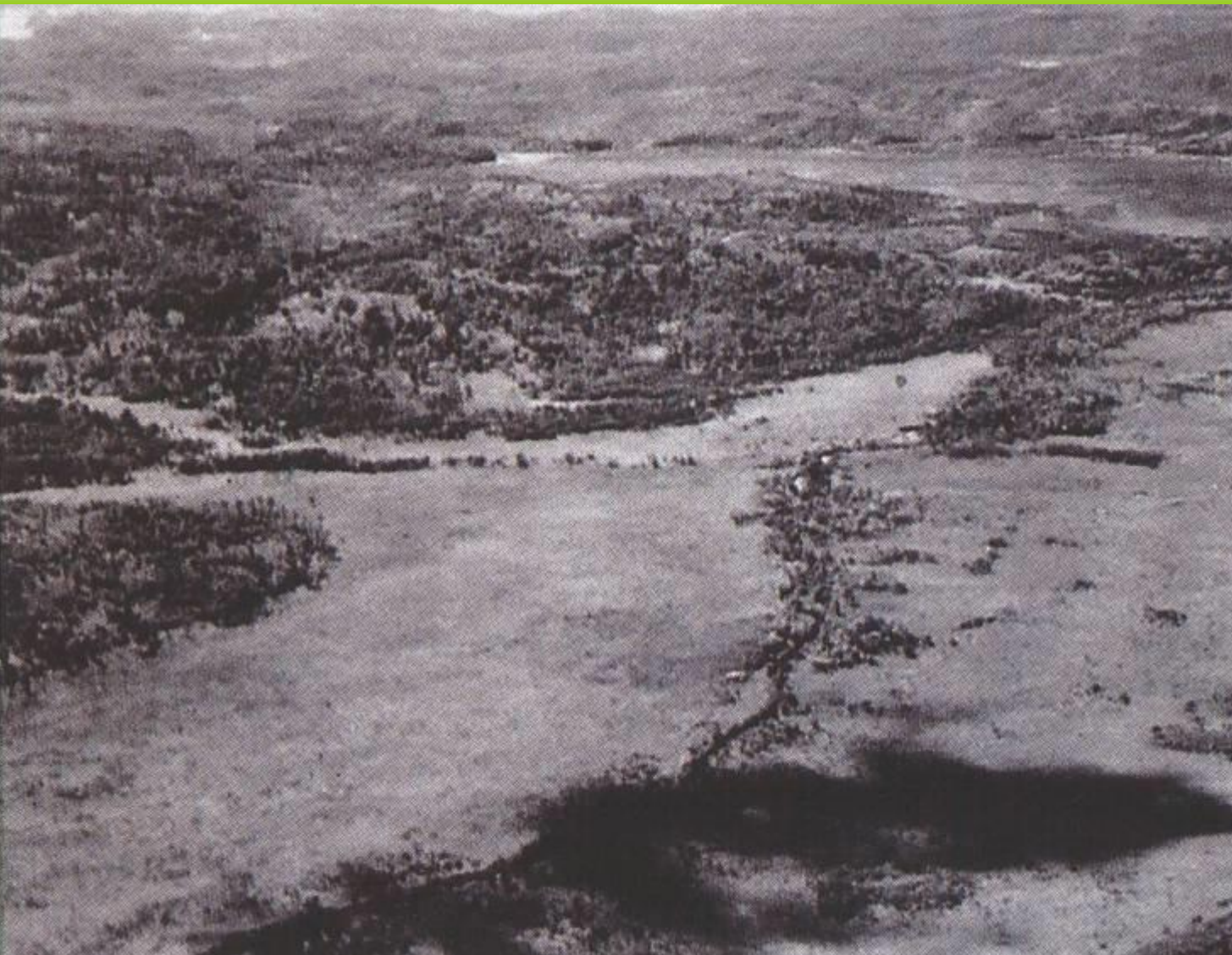
パイロットフォレスト

～よみがえった森林と
その恵みを次世代へ～

パイロットフォレストの位置



パイロットフォレスト造成の背景



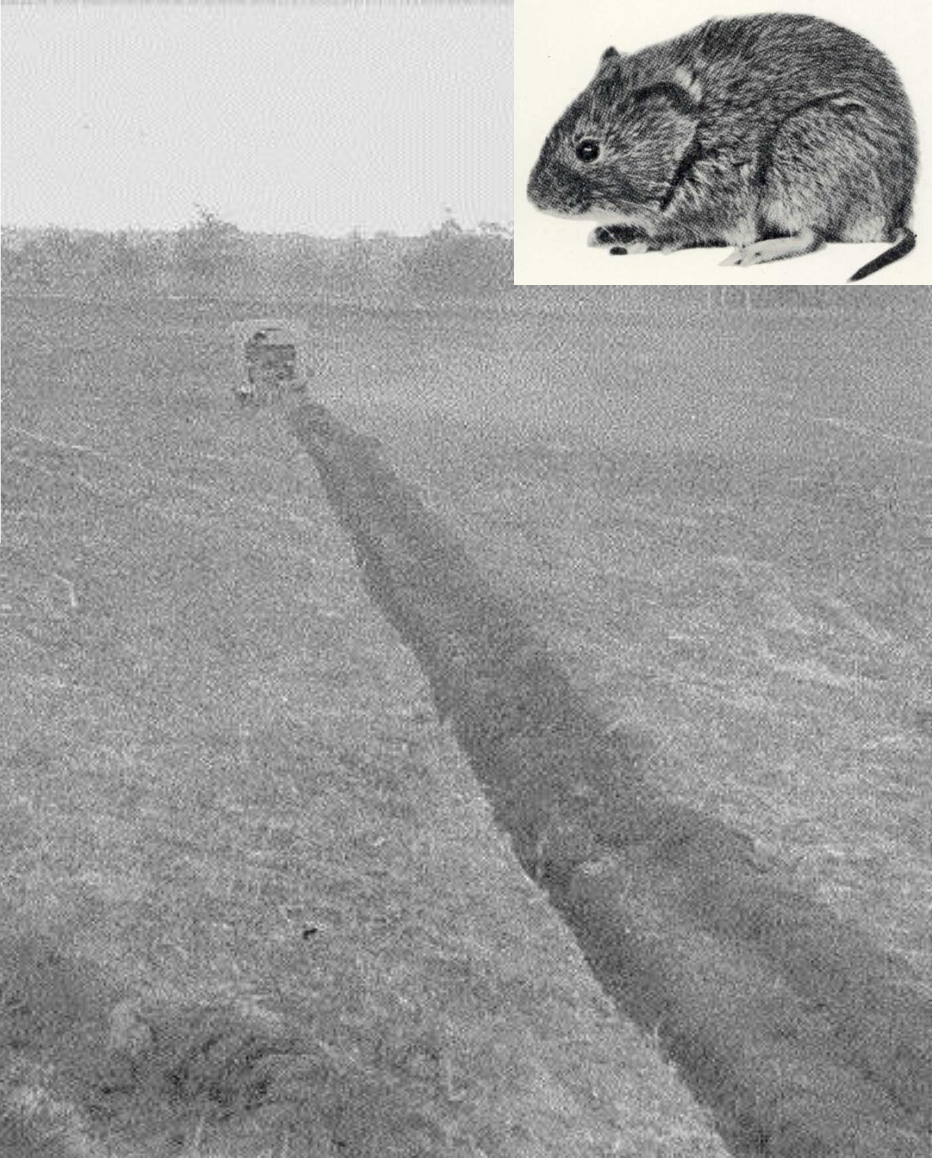
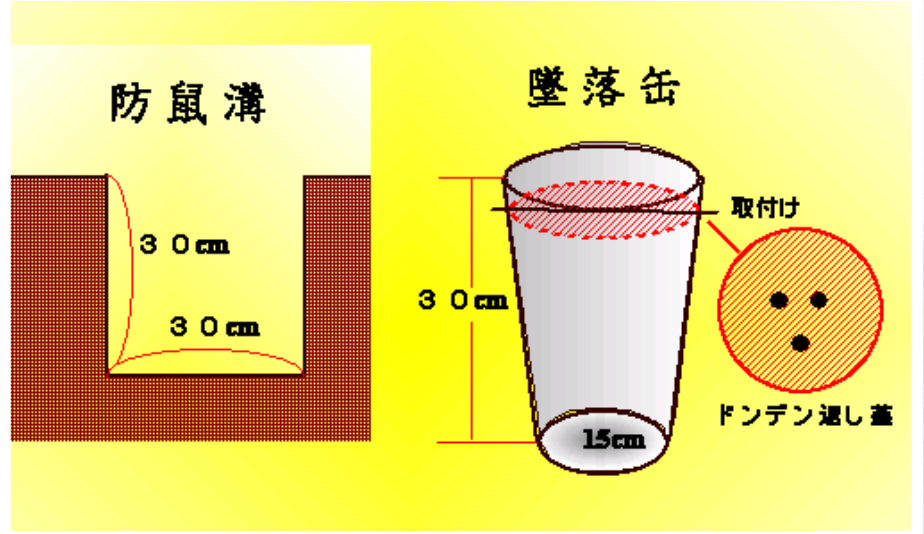
植栽樹種
カラマツ

造成前の様子

まずは... 湿原を渡る道を作る



困難への挑戦 ～野鼠(ネズミ)の防除～

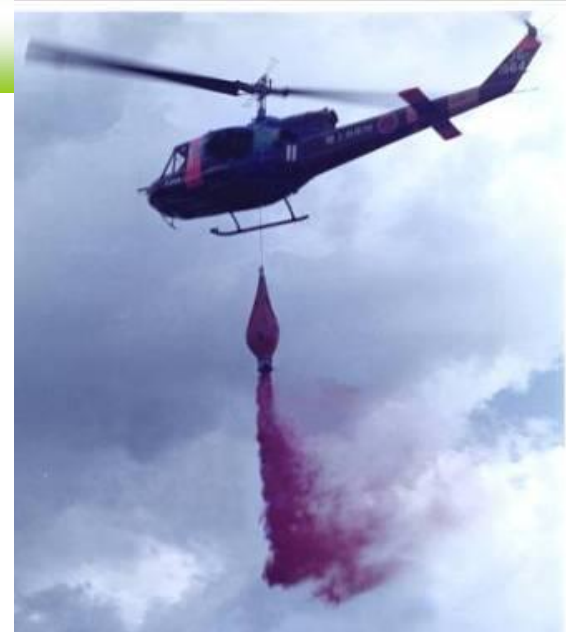


困難への挑戦 ～山火事対策～



延焼を防ぐための防火線

昭和49年の山火事



困難への挑戦 ～病害虫の防除～



カラマツ先枯病



地上からの薬剤散布

カラマツヤツバキクイムシ



困難への挑戦 ～労働力の確保と機械化～



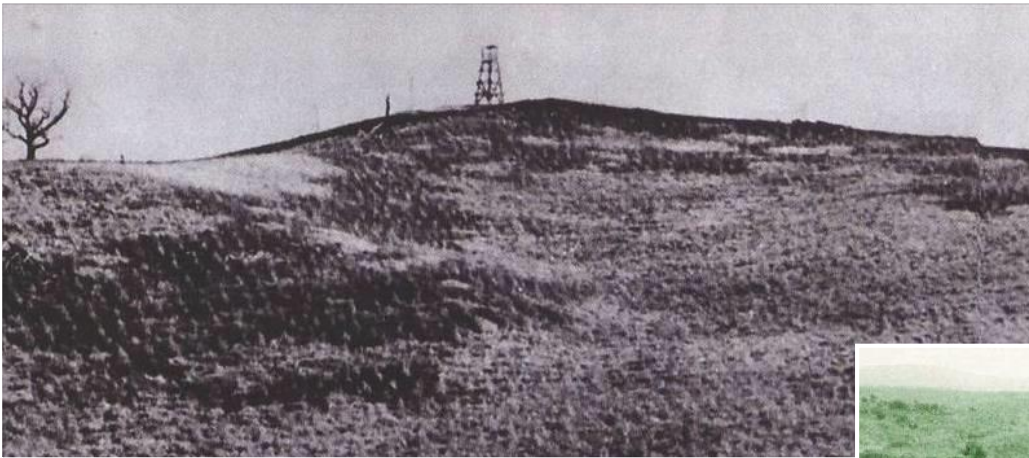
人力による下刈作業

【植付】 ツリープランター

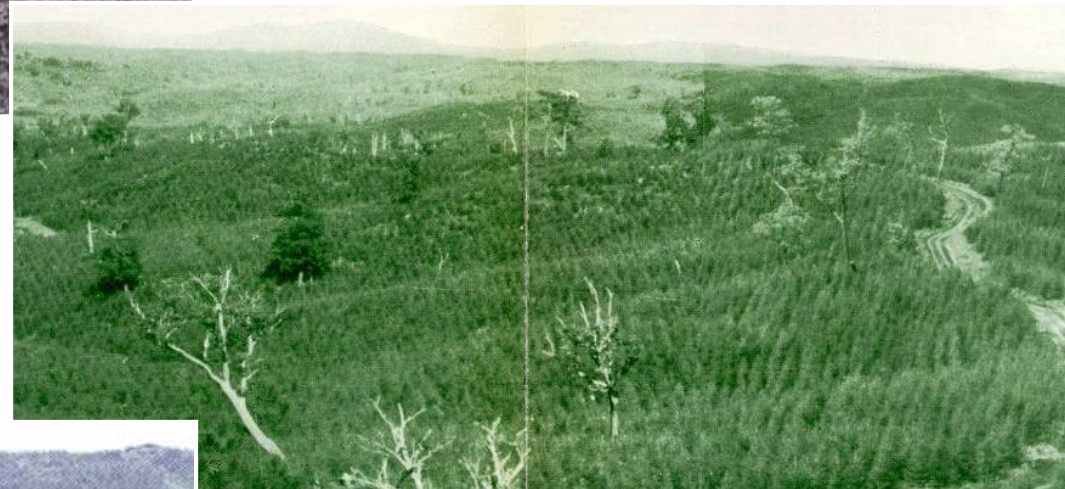


【下刈】 ローターベーター

パイロットフォレストの変遷



造成開始直後 昭和33年



8年目 昭和39年



20年目 昭和51年

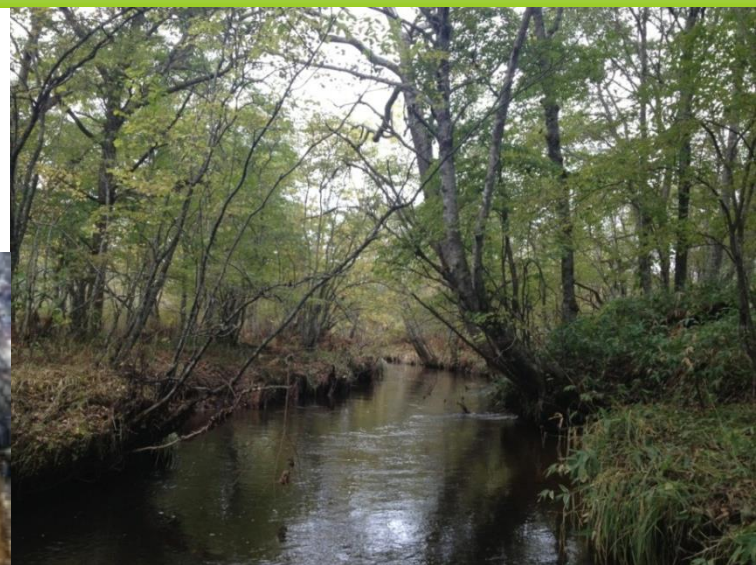
現在(61年目)

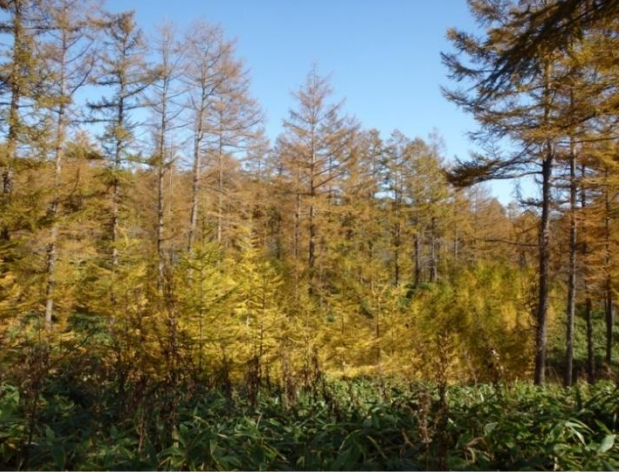


造成がもたらした恩恵とは



厚岸湖の名産
カキ







秋のパイロットフォレスト

資源循環に向けた取り組み（各森林計画区共通）

積極的な森林整備と木材の安定供給

低コスト・高効率な作業システムによる森林整備の推進



低コストで崩れにくい
森林作業道



コンテナ苗



高性能林業機械による
列状間伐

資源循環に向けた取り組み（各森林計画区共通）

積極的な森林整備と木材の安定供給

安定供給システム販売による需要・販路の確保・拡大

平成28年度 国有林材安定供給システム協定 例

森林管理署	物件内容	主な提案内容(取り組みの概要)
留萌北部	トドマツ一般材、エゾマツ一般材、アカエゾマツ一般材、針葉樹低質材、針葉樹原料材	<ul style="list-style-type: none"> ・ 様々な樹材種を製材、合板、製紙用チップ及びオガ粉など多様な用途への利用により、原木の有効かつ効率的な利用を図る。 ・ 輸送距離の短縮、トレーラーの活用などにより輸送コストの縮減を図る。 ・ 畜産用のオガ粉などの地元利用により、地域の農・水産業等の振興に寄与する。
留萌南部	トドマツ一般材、エゾマツ一般材、アカエゾマツ一般材、グイマツ一般材、針葉樹低質材、針葉樹原料材	<ul style="list-style-type: none"> ・ 様々な樹材種を製材、合板、製紙用チップ及びオガ粉など多様な用途への利用により、原木の有効かつ効率的な利用を図る。 ・ 輸送距離の短縮、トレーラーの活用などにより輸送コストの縮減を図る。 ・ 畜産用のオガ粉などの地元利用により、地域の農・水産業等の振興に寄与する。 ・ 鋸屑、バーク、ダストを余すことなく木質バイオマス資源として利用し、木材の有効利用を図る。
根釧西部	カラマツ原料材、広葉樹原料材	<ul style="list-style-type: none"> ・ カラマツ原料材は、家畜敷料用として、天乾、バーカーによる完全剥皮、カット刃加工などにより敷料としての品質向上を図る。 ・ 広葉樹原料材は菌床培地用として、キノコ栽培業者へ安定的に供給する。
根釧東部	アカエゾマツ一般材、カラマツ一般材、針葉樹原料材	<ul style="list-style-type: none"> ・ 様々な樹材種の材を、販売協定先の各工場に選別・発送することにより、資源の有効利用・受入間口の拡大を図る。 ・ 小中断面集成材の生産拡大を図るとともに、CLT等の実証・展示事業を進めて新規需要の開発に向けた取り組みを進める。

安定供給システム販売： 地域における安定供給体制の整備や木材の新たな需要の拡大、加工・流通の合理化等に資する提案を受け、企画競争方式により国有林の木材(立木や丸太)を安定的・計画的に供給する販売方法です。

資源循環に向けた取り組み（各森林計画区共通）

バイオマスエネルギー向け資材の供給

北海道内において、大規模なバイオマス発電施設の稼働が進んでいることや、二酸化炭素排出量の削減の観点から、林地未利用材等の木質バイオマスの有効利用を促進します。

【造材作業時に発生する端材（例）】



【切捨間伐や林道工事等により発生した林地未利用材（例）】



森林環境教育・木育活動の推進（各森林計画区共通）

遊々の森

学校や地方公共団体等と協定を結び、
子供たちの体験学習や学習活動のフィールドとして国有林を提供

- ・羽幌わんぱくの森 外（留萌森林計画区）
- ・クテクン自遊の森（釧路根室森林計画区）



ふれあいの森

緑づくりや環境保全に貢献したい方へボランティア活動の場として
国有林を提供

- ・チバベリふれあいの森 外（留萌森林計画区）



社会貢献の森

企業の社会的責任(CSR)活動等を目的とした植栽、保育等の森林整備活動の
フィールドとして、国有林を提供

- ・くしろ森林サポーターの会創立10周年記念の森（釧路根室森林計画区）



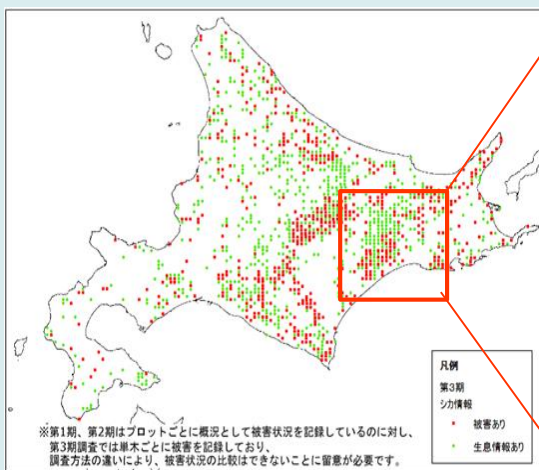
エゾシカ被害対策への積極的な取り組みの推進(各森林計画区共通)

引き続き、エゾシカの被害対策に積極的に取り組んでいきます。

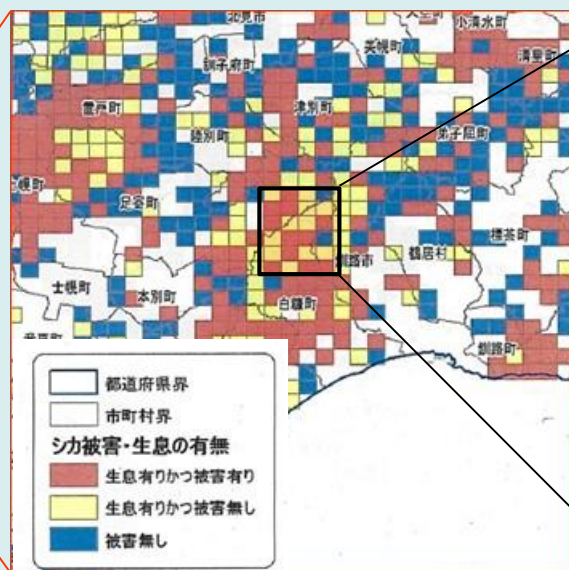
- ・ 森林への影響把握調査
- ・ 振興局・関係市町村等との連携、捕獲の際の協力

鳥獣害防止区域の設定について

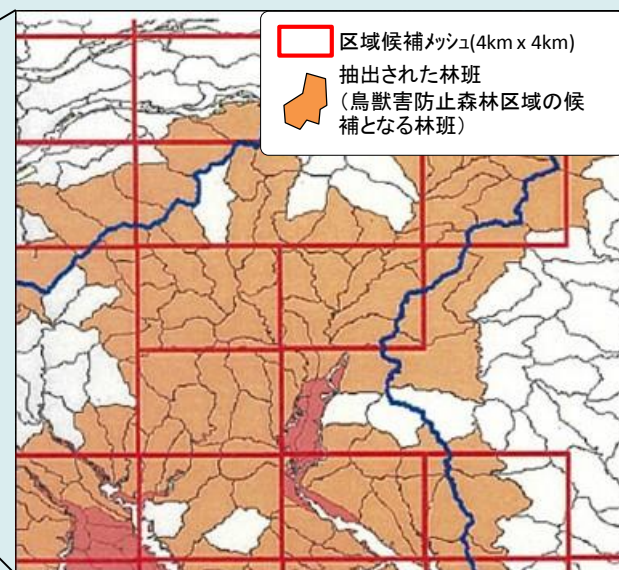
- ・ 昨年施行された森林法の一部を改正する法律により、昨年末樹立・変更した国有林の地域別の森林計画において、鳥獣害防止森林区域に関する事項を定めました。
- ・ 鳥獣害防止森林区域は、森林生態系多様性基礎調査において被害が確認された調査地点を中心とした4kmメッシュに、全部又は一部が含まれる林班を抽出して設定。



森林生態系多様性基礎調査
(例:ニホンジカによる被害状況)



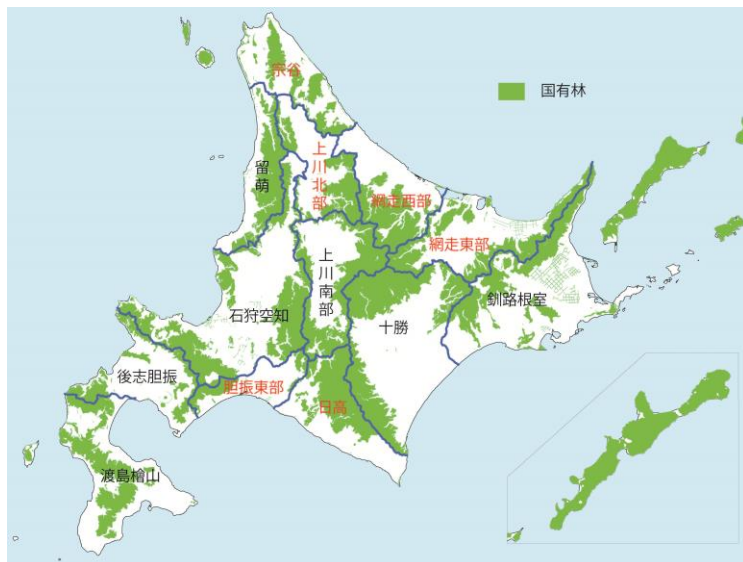
4kmメッシュの設定



林班の抽出

3. 変更計画の概要

変更計画の概要（6森林計画区）



赤字が変更の対象となる森林計画区



礼文島（宗谷森林計画区）

○森林整備の必要箇所や風倒被害のあった個所における森林整備の必要性を精査した結果、人工林の主伐及び間伐に係る伐採箇所の一部見合わせ及び追加から伐採総量を変更します。

（胆振東部、上川北部、宗谷、網走西部及び網走東部森林計画区）

○伐採総量（主伐箇所）の変更に伴い更新総量及び保育総量を変更します。

（上川北部、宗谷及び網走東部森林計画区）

○効率的な間伐等の森林施業を推進するために必要な路網整備にかかる計画を変更します。

（日高及び宗谷森林計画区）

○「森林共同施業団地」の協定を更新したことから対象の面積を変更します。

（網走東部森林計画区）